

ランドスケープデザイン部門

—まちが美しくなるみどりづくり—

大阪府 知事賞

日本生命淀屋橋ビル

【事業主】日本生命保険相互会社
(株)大林組
【設計者】(株)日建設計
(株)大林組大阪本店
一級建築士事務所
【施工者】(株)大林組

Address

A 大阪市中央区

Outline

日本生命淀屋橋ビルは、ビジネスの中心地である淀屋橋に立地するテナントオフィスビルである。総合設計制度による公開空地を敷地三面に設けており、積極的な緑化を行った。特に敷地東側は建物を大きくセットバックさせ、隣接する日本生命東館から続くプロムナードを延長する形で整備し、都心にありながら緑豊かで開放感のある外構空間としてデザインした。青木野枝氏によるアート作品を配置し、淀屋橋駅と地下で接続するサンクンガーデンと一体的な空間を形成することで、街との新たな関係性を創出することを意図した。並木とアーチの連続による奥行き感、木々の創り出す緑陰や四季の移り変わりを感ぜられる歩行者空間となっている。

Review

江戸時代の豪商・淀屋が架橋した「淀屋の橋」は、幾度かの架け替えを経ながら現在の姿となり、大阪のキタとミナミをつなぐ橋として大阪の発展を支えてきた。

この淀屋橋のほど近くに計画されたものが本作品である。総合設計制度による公開空地が敷地三面に設けられ、特に敷地の東側には豊かな緑が配置されている。この緑は南側街区の柱並木と連続しており、舗装や植栽花壇も統一的にデザインされ、二つの街区をつないだ緑豊かなプロムナードが形成されている。敷地の北側・南側の常緑・落葉を織り交ぜた植栽は、都市の中にあって季節の移ろいを感じさせてくれる。地上まで吹き抜けとなったサンクンガーデンは、花崗岩石張りの建築物の足元と鉄平石小端積みの壁面が自然の風合いを醸し出しつつ、外構のプロムナードとゆるやかにつながることで、大阪都心の業務エリアにおける貴重なパブリック空間が一体となって形成されている。またサンクンガーデンは、大阪メトロ・京阪電鉄淀屋橋駅と直結し、駅から街へと人の動きをつなぐ機能を有している。古くから街をつなぐ役割を果たしてきた淀屋橋。そのすぐ傍に街、人、緑の新たなつながりを創出する空間が生まれたことを評価したい。

(大阪公立大学 高木 悠里)



一般社団法人ランドスケープコンサルタンツ協会 関西支部長賞

The Villages

【事業主】(株)今西組
【設計者】積水ハウス(株)
【施工者】積水ハウス(株)
積水ハウス建設関西(株)
グリーンクラフト(株)
杉田造園(株)

Address

C 高石市羽衣

Review

時を遡ること明治6年(1873年)、白砂青松の景勝地に開設された浜寺公園の周辺一帯は、その後大正から昭和にかけて、公園の賑わい・交通アクセスの向上と連動して別荘地、高級住宅地として発展した。松をはじめとする庭木が配された広大な屋敷地が連なっていた名残を留める閑静な住宅地の一角が、この賃貸共同住宅の立地である。当地で4代に渡り住み継がれた屋敷の遺産である景石と庭木(マツ・クスノキ)を継承・活用し、ゆったりとした敷地のポテンシャルが最大限に引き出されている。アプローチ、中庭、ベデスティアンデッキからなる共用空間は、見守りや防災等の重要機能をさりげなく内包し、子供から高齢者まで、住民が思い思いに楽しむことのできる快適で居心地の良い環境となっている。

住戸の私的空間を保持しつつ、質の高い共用空間で全体をつなぐことで、ゆったりとした空間と時間を全住民が共有できる一体的な住環境が実現しているのである。隣接する浜寺公園は、時と共に変貌しつつ、多様なレクリエーションが楽しめる場として親しまれてきた。本公園の緑と楽しみが滲み出しているようなこの住環境は、これからも公園と連動して続いていく明るい未来を予感させる。地域の歴史に新たな息吹をもたらした未来へとつなぐ、優れたランドスケープデザインである。

(奈良県立大学 井原 縁)



公益財団法人国際花と緑の博覧会記念協会 会長賞

1000RE SCENES

【事業主】千里中央公園パートナーズ
(エイチ・ツー・オーリテイリング(株)、
(株)ローソン、
西日本電信電話(株)関西支社)

【設計者】(株)乃村工藝社 (株)MuFF

【施工者】(株)乃村工藝社

Address

B 豊中市新千里東町

Review

高度経済成長期、千里ニュータウンの開発とともに産声を上げた千里中央公園。半世紀余を経て、樹々は鬱蒼とし、人々のライフスタイルも変わり、公園の再整備はニュータウン再生の鍵とてよい重要な課題となっている。

暗く茂りすぎた林、老朽化した建物をどうしたらよいか。安易にクリアランスすれば、そこに積み重ねられて育まれてきた大切な命の営み、記憶のバトンが断たれてしまう。この難題に、多彩なプロフェッショナルが協働して丁寧に向き合い、地域住民とともに、日常の風景を豊かに紡ぐ、再整備のあり姿を示したのが、「1000RE SCENES」だ。

文字通り「千里のくらしを彩る千の景色を公園利用者や地域の方々につくりたい」との想いが込められている。イタリアンカフェやミニショップやコミュニティスペースとして、開放的にリノベーションされた公園事務所や倉庫と、その周囲を取り巻く樹林は、既存樹を可能な限り活かしながら、四季折々の風景を楽しむる在来種を加えて風通しよく整えられている。建物の西側で、百日紅の林・石庭に面して設けられたデッキ席など、さまざまなシーンを包み込み、細部まで心配られ変化に富んだ空間が心地よい。高経年のニュータウンで人と自然の関係を再構築し、ウェルビーイングを支えるランドスケープデザインとして高く評価できる。

(大阪ガスネットワーク(株) 弘本 由香里)



審査委員長 特別賞

クボタグローバル技術研究所

【事業主】(株)クボタ
【設計者】(株)大林組一級建築士事務所
(株)E-DESIGN

【施工者】(株)大林組

Address

D 堺市堺区匠町

Review

本技術研究所のランドスケープは、「食料・水・環境」に結びつくグローバル企業としての企業理念を表出するものであり、その中心となるレインガーデンはパッシブな環境技術をグリーンインフラとして単に視覚化するだけでなくランドアートとしての意味も付与している。また、レインガーデンは土壌の保水、浸透により、埋立地といった厳しい環境下でクロマツの良好な植栽育成基盤を形成し、初期の草地群落から低管理で海浜のクロマツ林の再生へと繋げることも意図されている。自然科学としての理論構成や技術面とアートとしてのデザイン面を融合させたイノベティブな作品であることから、従来の評価の枠組みを超えるものとして、審査委員長特別賞とした。

(大阪府立大学 増田 昇)



ランドスケープマネジメント部門

—まちが笑顔になるみどりづくり—

大阪府 知事賞

大利町自治会

【活動者】大利町自治会

Address

A 寝屋川市大利町

Outline

平成20年より大利公園(「ふれあい散歩道」を含む)は、四季を通して花を咲かせるなど一年中楽しめる公園造りに励んでいます。その甲斐あって、現在は平日のみならず、土日、祭日には幼児連れ親子、近隣の保育園からも当公園を訪れ、砂場、すべり台等の遊具で楽しんでいます。

朝は地域住民参加のラジオ体操、太極拳、グラウンドゴルフ等の活動や高齢者も花を楽しんだり、ベンチでくつろぐなど多くの住民から安心、安全な公園と評価をいただいています。

公園の管理についても地域の方の協力を得て、美化活動、美意識向上のため、子供会による清掃活動、さらにチューリップ球根の植付けへの参加、夏季における水やりなど市の美しいまちづくり活動に即した公園造りに努めています。

Review

地域の中心に位置する大利公園は、日々の親子連れや保育園の利用に加え、地域の方々のラジオ体操や太極拳、グラウンドゴルフ等に活発に利用されており、地域の貴重な交流の場となっている。また、この公園に隣接する大利神社は地域のシンボルとして地域の方々に大切にされている様子がその佇まいに表れている。

本活動は、この公園と神社の繋がる「ふれあいの散歩道」を中心に、平成20年より地域の自治会により10数年継続している美しいまちづくり活動の一環である。美化緑化委員会を中心に日曜日を除く毎朝、公園中央の花壇、築山と南側花壇や遊具横のフラワーボックスに加え、散歩道沿いの花壇を対象に除草や水やりに加え、ごみ拾いが行われている。

また、月1回子供会による清掃活動も行われている他、住民の協力で四季折々の花が植えられ、地域の方々の目を楽しませている。ここで咲いた草花は地域の希望者に切り花として提供されるばかりでなく、地域のお年寄りの集まりや老人介護施設にも提供されるとともに協力を頂いている市役所にも提供されている。この公園では、四季折々にチューリップアートの集いやふれあい盆踊り大会などのイベントが開催され、今年は釜戸ベンチを利用した防災訓練も予定されている。これらの空間が住民参画のもとで長年良好に運営管理されており、大阪府知事賞に値すると評価した。

(大阪府立大学 増田 昇)



奨励賞

大阪国際中学校高等学校

【事業主】学校法人大阪国際学園
【設計者】(株)安井建築設計事務所
(株)現代ランドスケープ(元・所員)

【施工者】(株)竹中工務店

Address

E 守口市松下町

Review

本作品は、守口市における緑のネットワーク軸の中心である大枝公園に隣接して新設された中高一貫校のキャンパス計画である。広いグラウンドの東・北・西に回り込んで校舎群が配置されるが、特殊教室(音楽、美術・技術、調理、看護・保育実習棟など)を分棟として散りばめ、その周囲を学びのプログラムと連動した庭とすることで「公園を歩くかのように、ヒト・モノ・コトに出会う学びの場」を目指している点に特徴がある。

例えば日本文化を学ぶ和室には茶庭風の庭が、理科教室には雨水利用のビオトープがあり、各庭は120種以上の植物や緩やかな園路で包まれている。今後、「生徒と共に成熟する緑のキャンパス」として地域の緑とともに成熟していくことが多いと期待される。

(京都芸術大学 仲 隆裕)



審査委員長 特別賞

morineki(大東市北条)

【活動者】大東市

(株)コミン

Address

B 大東市北条

Review

本物件は、老朽化した市営住宅の建替えを契機に、都市計画公園、道路等と一体的に開発され、都市公園・住宅・商業棟群が一体となった街並みを出している。KKコミンを中心に公園エリアの維持管理がなされるだけでなく、商業棟の入居の民間事業者によりマルシェや各種イベントが毎月開催されており、新たな地域交流の一助となっている。「もりねき未来会議」と称した会議体が設計段階から組成され、旧・大東公民連携まちづくり事業株式会社(現・KKコミン)がコーディネーターとなって実現されたものである。新しい管理運営方法もさることながら、開発そのものが新たな公民連携事業によって実現されたものであり、従来の評価の枠組みを超えるものとして、審査委員長特別賞とした。

(大阪府立大学 増田 昇)



奨励賞

花さかばあさん

【活動者】花さかばあさん(森正江)

Address

C 大阪市北区長柄東

Review

大阪市北区の個人的な活動であるが、ゴミの山であった街の一角を美しく保つために花壇を長年に渡って維持されてきた取り組みである。中学校横の空地に長年放置されている不法投棄、所有者が見つからず、仕方なく個人の費用で廃棄物を処分。その後不法投棄が起きないように自ら花壇を作り始める。苗は所属されている北区バラの会さんから提供を受け、以来15年季節の花を植え替え維持管理されている。地域の方々に心地よい環境を提供され続けているご尽力に敬意を表するとともに、支援者が集まり広くそのような取り組みが地域で展開することを祈念いたします。

((株)庭樹園 當内 匡)

